



たんぽぽ通信



武蔵村山病院 病児保育室「たんぽぽ」

2024年9月

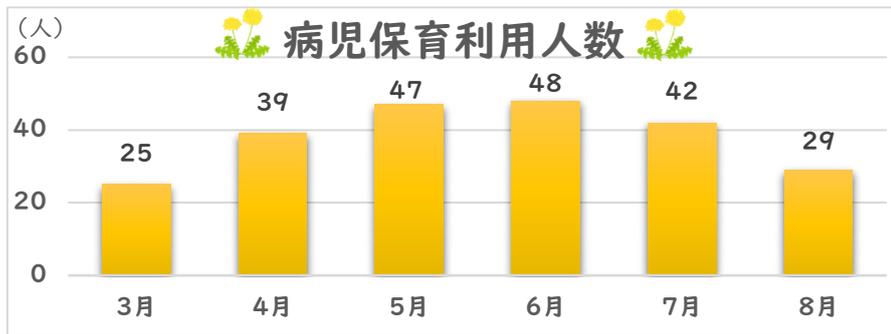
たんぽぽ
通信って？

「たんぽぽ通信」は、病児保育室「たんぽぽ」から、市内の教育・保育施設へ向け
て情報を発信していくお便りです。みなさまのお役に立つ情報を提供して
いきます。

2024年3月～2024年8月の利用実績

2024年3月～2024年8月までのたんぽぽ
保育室利用人数は右表の通りです。

今年は4月から増え始めて、5月と6月
がピークとなり、8月からは平年並に落ち
着きました。去年に比べて、4～6月の利用
人数が増加しています。



今年流行した感染症について

今年特に流行した感染症は手足口病です。手足口病とは、口の中や手足などに水泡を伴う複
数の発疹が出る感染症です。7月下旬から感染のピークになります。2歳以下の感染が多いで
すが、小学生でもまれに感染があります。発熱の発症は少なく、ほとんどは3～7日で治る病
気ですが、まれに合併症を起こし、重症化することがありますので、経過観察が必要です。



【感染経路】

- ・飛沫感染
- ・接触感染
- ・経口感染

【感染対策】

- ・手洗いうがいの徹底
- ・タオルの共有を避ける
- ・おもちゃの共有を避ける



感染症対策を万全に
秋から冬にかけても、様々な感染
症に備えて「手洗い・うがい」
を習慣づけていきましょう！！

たんぽぽ保育室の状況

病児保育室たんぽぽでも、7月～8月にかけて手足口病でのお子様を多くお預かりしました。

手足口病は、保育室などの集団生活で人との感染が広がる恐れがあるため、たんぽぽ保育室では、職員とお子様
に手洗いの徹底をしています。また、複数人のお預かりの場合には、おもちゃの共有は避けて使用しています。

お子様が安心してたんぽぽ保育室を利用出来るように、スタッフ一同感染対策に努めて参ります。